

## 学士学位記授与式祝辞

# これからの社会を支える皆さんへ

数学・数理解析専攻  
専攻長 雪江 明彦

皆様本日はご卒業おめでとうございます。入学から本日に至るまでさまざまな困難もあったと思います。今日皆さんを見て、逞しくなられたことに感銘を受けています。

皆さんはこれから大学院に進学されて研究者を目指されたり、就職されたり、進学の後就職されるなど、さまざまな道に進まれると思います。学部卒業というのは、その過程の一区切りですが、これからの人生の本番です。大学生活においても困難なことはあったと思いますが、これからの楽しいこともあれば苦しいこともあるだろうと思います。自然災害や、必ずしも平和ではない社会情勢もありますし、数学というものの社会から求められる役割も変化してゆくかもしれません。しかし、仮に困難な状況になったとしても、時間が解決してくれることもあると思います。

大学院に進学される方は学部で学んだ数学より高度な数学を学び数学の最前線に到達、あるいはそれを超えるところまで達成できるかもしれません。就職される方も何らかの形で数学に関わるかもしれませんし、あるいは違った方向に進まれる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、数学を学んだことによる、論理への厳しさや数学的素養というものは決して無駄にはならないと思います。昨今はコンピューターの性能もよくなり、AIなどという言葉も身近になってきていますが、どんなにコンピューターの性能が良くなろうと、コンピューターやAIには数学はできないだろうと思います。それは、数学の議論は論理的であっても、数学の価値観といったものは極めて人間的なものだからです。

皆さんは大学の数学を学んだのですから自信を持って良いと思います。

これから40年以上にわたり私達の社会を支えるのが皆さんです。卒業後は頑張らなくてもいいです。かっこ悪くてもいいです。しかし、勇気を持って、これからの人生を生き抜いて行ってもらいたいと思います。本日は誠におめでとうございます。

